



令和4年1月1日 現在  
 総世帯数 8,047世帯  
 総人口 17,412人  
 男 8,745人  
 女 8,667人

**芳川地区  
 地域づくりセンター**  
 ☎58-2034  
**芳川出張所**  
 ☎58-2034  
**芳川公民館**  
 ☎58-2034  
**芳川福祉ひろば**  
 ☎57-0168

※芳川地区地域づくりセンター、  
 芳川出張所、芳川公民館への  
 連絡は同じ番号となります。

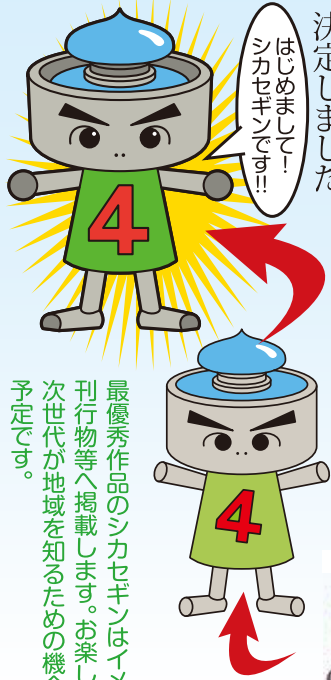
子ども会育成会および地域づくり協議会などで芳川小、開明小、才教学園(芳川在住者)4〜6年生を対象に芳川地区のイメージキャラクターの募集を行いました。

芳川っぽいと思うものなら何でもOKと、児童たちに芳川ってどういう地区なの

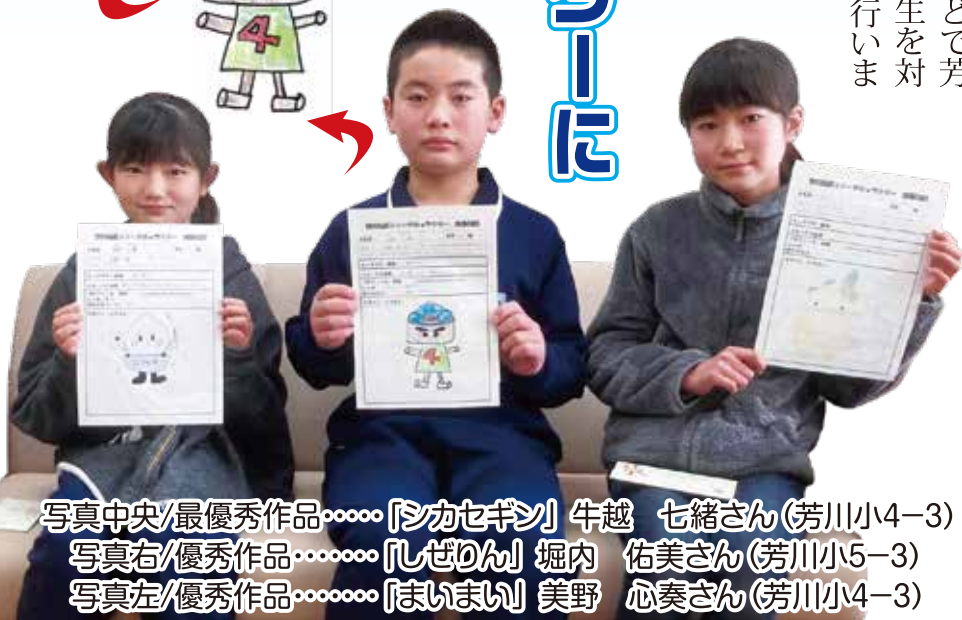
# 芳川地区の イメージキャラクターに シカセギン

か考えてもらいました。田んぼや四ヶ堰、野溝ほうきなど思い思いの芳川のイメージを持ったキャラクターが集まりました。

応募総数33点の中から、最優秀作品1点、優秀作品2点を決定しました。



最優秀作品のシカセギンはイメージキャラクターとして、データ化し、刊行物等へ掲載します。お楽しみに。沢山のご応募ありがとうございました! 次世代が地域を知るための機会と捉え、こうした事業を定期的開催していく予定です。



写真中央/最優秀作品.....「シカセギン」牛越 七緒さん(芳川小4-3)  
 写真右/優秀作品.....「しせりん」堀内 佑美さん(芳川小5-3)  
 写真左/優秀作品.....「まいまい」美野 心奏さん(芳川小4-3)

# 世界のレクゲーム!



▲写真はポッチャ

11月21日(日)、芳川体育館で芳川楽笑レクゲームの集いが開催されました。地域づくり協議会の主催で、昨年はコロナ禍で中止せざるを得ませんでした。今年度は感染症対策をし、開くことができました。

今回は、東京パラリンピックでも話題になったポッチャから、モルック、クツブ、バツゴといった聞きなれない競技まで、参加者同士笑い合いながら楽しんでました。

参加した方は「知らないゲームを多世代で交流しながら楽しめた。またやりたい」と初めての競技を楽しんでいました。



12月16日(木)、芳川地区農村女性委員会の方々と希望者が、手ぼうきづくりをトライしました。

窪田好昭さんによるレクチャーで、それぞれ講師陣からご指導いただき、黙々と道具の前でぼうきを相手に奮闘しました。中には2本目を作る姿も。

初めてぼうきづくりをした参加者からは「終始難しかったけれど、地元の伝統に触れることができてよかった」「話は職場で聞いていたので、つくることができ、うれしかった」と貴重な時間となった模様。

# ぼうきづくり体験会開催

地域づくり協力隊では、野溝ぼうき復活プロジェクトも始まっています。ぜひ地域で盛り上げていきましょう！

材料となるぼうききびは、農村女性委員会が播種、管理、刈り取り、乾燥を行い、公民館にご厚意で寄付していただきました。



# 芳川の今昔物語

村田 正幸

第36話



## 小屋から東を望む

その昔……

やまびこ保育園から東を望む。松本環状高家線の陸橋が建設中で、才教学園(旧サンピア松本)や芳川消防署の建物がみえる。

小屋南周辺はまだ農地が広がっている。



撮影:2022.1.7



撮影:1980年頃か?



松本環状高家線の陸橋が建設中

## 現在は……

鉢伏山や筑摩山地は遠望できるが、やまびこ保育園の東側は宅地開発されて建物が建ち並び、周囲はみえない。

## たちばなし

二年続けてコロナ禍の中で新年を迎えることになりました。早く事態が終息して生活の不便さが解消されることを願うばかりです。世界的にみると日本は感染者数が少ない国という事実があります。日本人の生活様式や遺伝的特性が原因ではないかと言われていますが、その理由は未だに明確になっていません。ウイルスは特定の遺伝子型に対して作用する特徴があり、例えばニワトリやブタに感染するウイルスは通常ヒトには感染しません。ニワトリ、ブタ、ヒト、それぞれ遺伝子型が異なるからです。ところがウイルスは短い周期で変異を繰り返して、様々な特性を獲得します。ひと月の間に何百という変異種が発生します。その中からヒトに感染する特性を得た例がトリインフルエンザやブタインフルエンザの感染報告です。遺伝子型は人種によっても異なる部位があり、これが日本人の遺伝子型を感染者数と関連付けて考える説の根拠となっています。新型コロナウイルスはまだ不明な点が多く、終息するまでは予断を許しませんが、一人ひとりが自分の出来ることに取り組んでいくことが肝要なのかもしれません。